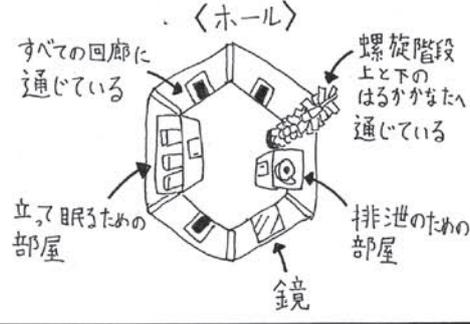
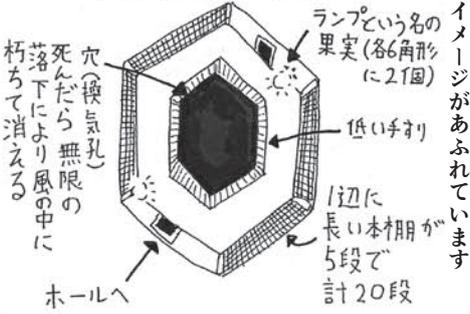




幻想の作家J・L・ボルヘスが描いた無限の宇宙の設計図、それがバベルの図書館です

十四ページという短篇の中に驚くほどの知識とイメージがあふれています

〈図書館は無限数の六角形の回廊で出来ている〉



そのイメージを言葉にしたがって描くならどこかで矛盾が生まれます

無我の境地に達すると現われるという円形の部屋



気付けば迷宮図書館の奥深くにいるのです

「バベルの図書館」をとりあげる 『草子ブックガイド』 本編7冊目は5月31日発売の『モーニング』(No.27) に掲載予定！

この「バベルの図書館」を「草子ブックガイド」本編7冊目でとりあげる事になりました

作者です

バベルの図書館描かせていただく事になりました

無限の図書館を表現するために六角形が横につながっている断面図にしようと思いましたが

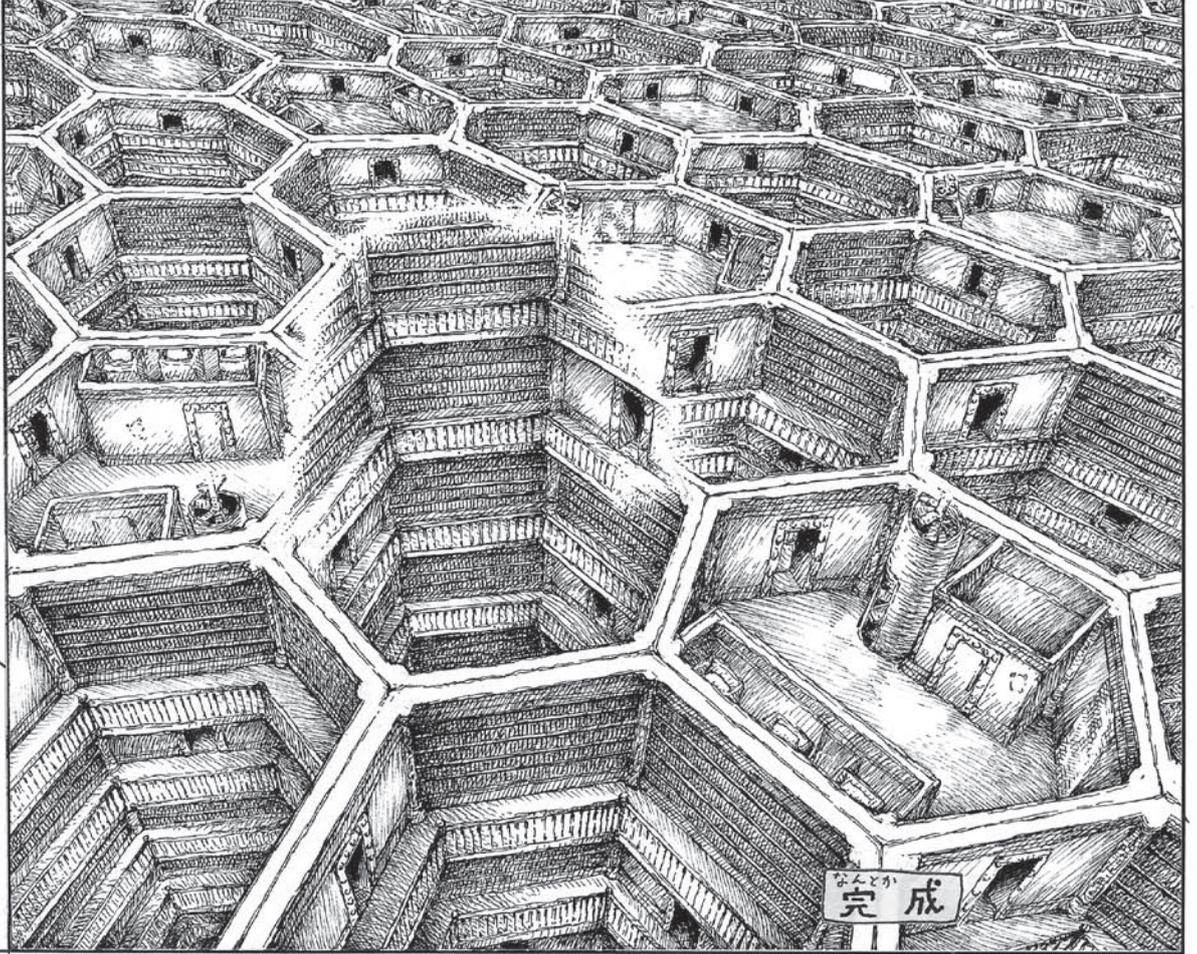
そうなる縦にもずっと続いているさまが表現できません

かと言って縦の連なりを描くと横の広がり描けない

なるほどなるほど

二つの案... くつつけられないですか?

おおっ!!



絵にはしましたが皆さんも「バベルの図書館」を読んで

自分だけの「迷宮図書館」を心の中に作りあげてくださいね!

おしまい

さらに8冊目が6月7日発売のNo.28で続きます。新キャラ登場の噂も...!! お見逃しなく!!